

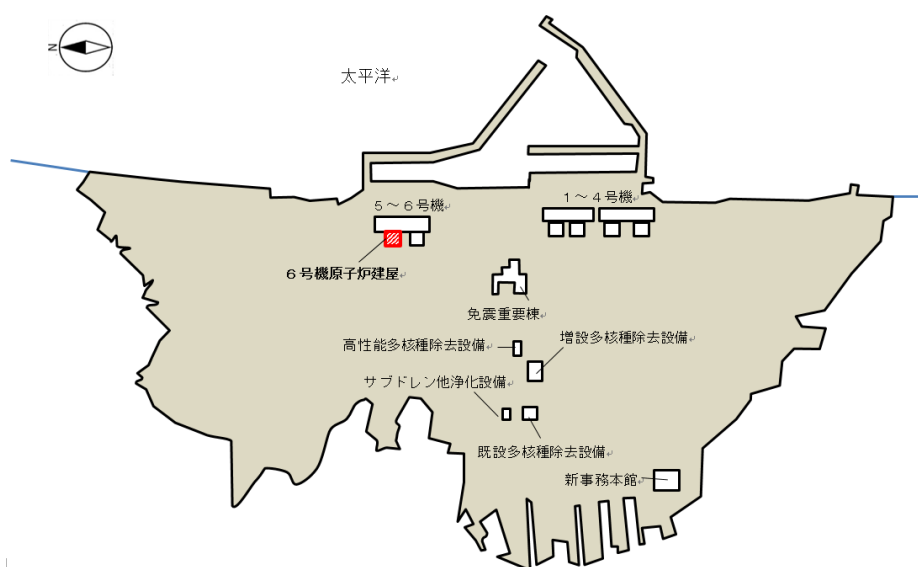
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年8月29日（木）
- 2 確認箇所
6号機原子炉建屋（図1）
- 3 確認項目
6号機燃料取り出し作業の状況
- 4 確認結果の概要

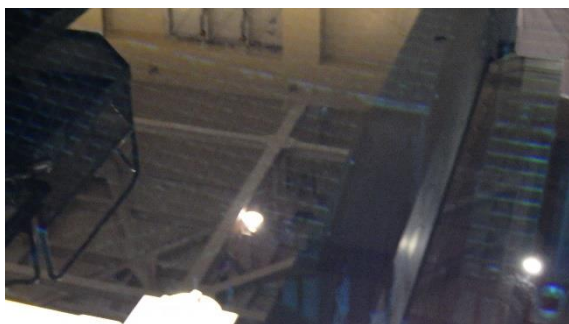
5号機及び6号機の原子炉建屋にある使用済燃料プール（以下「SFP」という。）には、現在それぞれ1,374体^{*}、1,016体^{*}の使用済燃料が保管されている。東京電力は、これらの使用済燃料を各原子炉建屋のSFPで保管するよりも地震や津波などに対してより安全性の高い共用プールで集中保管する方が安全であるとして、共用プールに移送する計画としている。計画に基づき、6号機SFPからの使用済燃料取り出しを令和4年8月から開始していることから、作業の状況について確認した。

- ・ 6号機SFPの水については、見る限り特に濁りなどは見られなかった。（写真1）
- ・ 6号機SFPの周辺は金属製の仕切板で区画されており、区画の出入口には、SFP内への異物混入防止のための注意喚起が表示されていた。（写真2）

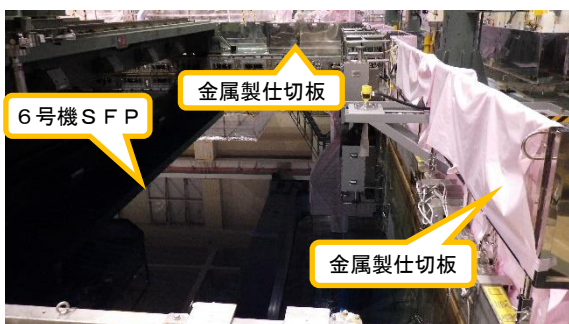
※単位は燃料集合体の数、貯蔵燃料の数字は令和6年8月28日現在。



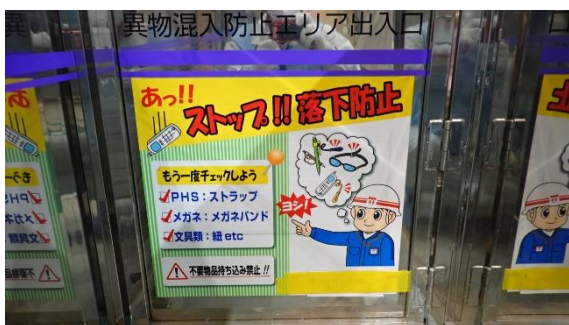
（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
6号機SFP内の状況



(写真2-1)
6号機SFP周辺の金属製仕切板の設置状況



(写真2-2)
SFP内への異物混入防止のための注意喚起表示の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。